

令和 4 年度 事業所における自己評価結果

放課後等デイサービスひろば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・車イスで活動するスペースと降りて遊びや休憩をとるスペースを分けています。今年度もコロナ禍で感染防止対策の為密にならないように畳のスペースとマットのスペースに分かれて過ごしました。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・年度途中、常勤職員、非常勤職員が退職したことで体制が取れないことがありました。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・利用されている方からも不便を感じている等のご意見はいただいていない状況です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・コロナ禍でもあったことで、栄養士と給食会議、看護師と連携会議、理学療法士との会議の時間を確保できない時がありました。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・保護者会の開催がなかったことや災害等の避難訓練の発信が足りないことがあったようなので、今後は保護者からの意見や要望を業務改善につなげていきたいと思えます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人のホームページにガイドライン評価を公表をしています。また、内容等の更新も行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者による外部評価は行ってないので、今後は法人と相談し、他事業所の状況などの情報も集めていきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・コロナ禍でもあり、研修時間が放課後の時間帯と重なっていることが多かったです。虐待防止法等の研修にはZOOMで参加するようにしました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・個人面談を実施することができず、個別支援計画や評価を保護者の方に書面にて説明させていただいた。十分に利用者の家庭での様子や保護者のニーズを確認することができませんでした。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・対象児童がいないので実施していません。今後対象者によっては検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎月のひろば会議にて月の反省や次月の活動内容の確認など、長期休み前には行事の分担、内容の立案等行なってきました。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・コロナ禍の為、制限される事も多かったですが季節感などを感じてもらえる活動を工夫して提供する事を心がけました。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・毎月のひろば会議にて翌月の活動内容について話し合いをしています。週単位や月単位など、または季節に合わせた内容を検討して過ごしました。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別の時間を大事にすると共にコロナ対応で密に気をつけながら集団活動をすることで、友だちを感じることに繋がりました。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝の職員ミーティングと支援開始前のミーティングを行うことで1日の活動内容の確認を行います。毎月のひろば会議にて翌月の活動内容について話し合いをしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・夕方のミーティングで1日の反省と確認作業を行います。ヒヤリハット報告、事故報告があった場合はその日のうちに話し合いを行い職員間で共通理解をしています。また、業務日誌や個人記録に残します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・業務日誌や個人ファイルに利用者の記録を残し今後の支援に繋げています。管理者や児童発達支援管理責任者も確認を行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・中間モニタリング会議を実施して、各利用者の方の支援内容の見直しや継続を検討しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・放課後等デイサービスの必要性や目的など総則の基本活動を取り入れて事業計画を作成し、支援にあたっています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・コロナ禍の為会議には参加できませんでしたが、児童発達支援管理責任者が相談員とモニタリングを行い情報の共有を行いました。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・コロナ禍の為、学校の事業所連絡会に参加することができませんでした。学校からのメールやコーディネーターの先生と電話対応して情報交換をしました。放課後は担任の先生と引継ぎし、医療的ケアが必要な利用者の方は看護師との引継ぎをして対応しました。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・主治医から医療的ケアの内容や緊急時の対応等の指示書はいただいておりますが、連絡体制を整えるまでにはなっていません。緊急の場合は救急で搬送することが確認されている方がほとんどです。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・小学部1年生の利用はあり、これまで利用されていた他事業所と情報交換を行いました。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・情報提供を希望される場合は提供していません。法人内の事業所であれば引継ぎを行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・適宜、専門機関と連携を取り支援を行っています。できるだけ研修にも参加するよう努めていますが、今年度はコロナ禍の為、電話対応やりモートでの参加になりました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・外部との交流についてはコロナ禍の為、実施は難しいと感じます。こちらからというよりも障害のない子供からの発信(団体など)がある形も検討されたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・子ども部会に児童発達支援管理責任者がリモートで参加しました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時やお迎え時に当日の様子や状況をできるだけ詳しくお伝えするようになっています。必要な時には電話で様子の確認をしてきました。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・ペアレントトレーニングの対象になるご家庭はありませんでした。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や保護者会等(今年はコロナ禍で未実施)で説明を行っています。変更があれば随時お手紙を配布して説明するようになっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からご相談を受けた場合はその都度対応しています。相談内容によっては相談支援員や関係事業所とも連携するなどして対応に努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・今年度はコロナ禍のため開催できませんでした。規模を小さくするなど内容等も検討して実施できたらと思っています。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・法人内(第三者委員)また事業所にも苦情担当職員を置き対応しています。 今年度は苦情等はありませんでした。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ひろば通信を発行して利用者の様子や活動内容を発信しています。また、ホームページにもプライバシーに気をつけて掲載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・契約時には個人情報の使用に関わる同意書をいただき、必要以上の情報提供が無いよう気を付けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・子どもたちと意思疎通をする為、絵カードや手話などの取り組みをしていますが、まだまだ課題はあります。ツールの改良が必要と思っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度もどの行事もコロナ禍のため中止でした。外部の方の出入りも禁止のため、ボランティア活動の受け入れもできませんでした。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急時マニュアル等のご利用初めの利用案内を持って説明を行っています。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のお知らせやお願いをする事があり、その都度ご連絡してきました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・避難訓練を4回実施しました。災害時伝言ダイヤルの活用も行い保護者との緊急時の対応について確認を行ってきました。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			コロナ禍のため、今年度も県や市が行う研修会にはリモートで参加しました。法人内の虐待防止委員会からの課題については職員間で話し合う時間を作って対応してきました。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・各利用者ごとに身体拘束に関する同意書を作成し、個別支援計画と一緒に説明、同意を得て対応しています。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・保護者からの要望を確認し、給食会議を行って安全に提供しています。医師からの指示書はいただいている状況です。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、経過や内容について職員間で話し合い、法人責任者への報告もし、再発防止に努めています。また、非常勤職員にはファイリングした資料を確認してもらうよう発信しています。	